



【写真説明】

1. 思い出の園舎をバックに満面の笑みを見せる閉園式の参加者／2. これまでの幼稚園の歩みを語る河野園長／3. 幼稚園への感謝の気持ちを歌に込める／4. 町長から記念品を受け取る澤田ゆなさん／5. 廊下には卒園した小中学生からのメッセージを掲示／6. 最後にお世話になった先生たちと笑顔で記念撮影



INTERVIEW ① 卒園生



森山 楓音さん（町中）

閉園は残念ですが、幼稚園はたくさんの楽しい思い出をくれた場所。4月からは高校生になるので、卒園生として胸を張れるよう勉強などさまざまなことに励みたいです。

INTERVIEW ② 卒園生



吉本 塁さん（丸岡）

1番の思い出は運動会でのかけっこやリレーで1等賞を取れたことです。閉園は寂しいですが、幼稚園で過ごした時間は私にとってかけがえのないものでした。

INTERVIEW ③ 園長先生



河野 健二さん

園児たちの夢を育み、希望を託し、汗を流した本園の閉園は寂しい限りです。本園の赤い三角屋根の園舎は皆さんの思い出として残っていくでしょう。

【津奈木幼稚園閉園式】

ありがとう 津奈木幼稚園

49年の歴史に 幕引き

3月18日(土)、津奈木幼稚園が49年の歴史に幕を下ろしました。1974年の開園から1205人の卒園生たちの健やかな成長を見守ってきた同園の閉園式には園職員や来賓、園児だけでなく、卒園した小中学生22人も駆けつけました。

山田町長は「多くの園児の成長を見守り続け、たくさんの方の思い出を作ってくれた園舎も最後の日を迎え、哀惜を感じる思いです。本園の教育にご尽力いただいた園長先生をはじめ、各先生方や保護者の皆さま、そして地域の皆さまのご理解とご協力に感謝申し上げます」と話していました。

今年度の園児は卒園児1人を含め3人。残った2人は町内の保育園に移ることになります。これまで3人と多くの時間を過ごしてきた先生たちは「小学校や保育園に行ってもここで過ごした時間を忘れずに元気に過ごしてください」とや「小学校や保育園に皆さんの様子を見に行くので、成長した姿が見れることを楽しみにしています」と園児たちへ別れと激励の言葉をおくりました。